

携帯黒電話 Bluetooth

製品型番：TTR-KUR02-BT

取扱説明書

目次

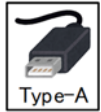
1	使用前の準備	1
1.1	充電.....	1
1.2	電源のオン・オフについて.....	2
1.3	Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続.....	3
2	通常の使用方法	5
2.1	着信.....	5
2.2	発信.....	6
2.3	フッキング.....	7
2.4	リダイヤル.....	7
2.5	短縮ダイヤル.....	7
2.6	受話器・送話器の音量調節.....	8
2.7	トーン信号の送出.....	8
2.8	Bluetooth の接続.....	9
2.9	Bluetooth の切断.....	11
2.10	iPhone の Siri など使用時の注意事項.....	11
2.11	タイマー機能.....	12
2.12	バッテリー残量の確認.....	12
2.13	ベルテスト.....	12
2.14	スマートフォンの通話アプリ（IP 電話）での通話.....	13
3	各種設定	15
3.1	充電速度・充電完了ベルの設定.....	15
3.2	リダイヤル機能の設定.....	15
3.3	常時自動接続の設定.....	16
3.4	オフフック時自動接続の設定.....	16
3.5	マナーモードの設定.....	16
3.6	ダイヤル桁間タイマの設定.....	16
3.7	Bluetooth デバイス名の変更.....	16
3.8	通話アプリ機能の設定.....	17
3.9	電源オフ.....	17
3.10	再起動・設定初期化.....	17
4	付録	18
4.1	電波法の認証について.....	18
4.2	仕様.....	18
4.3	特殊ダイヤル操作一覧表.....	19

1 使用前の準備

1.1 充電

使用する前に、携帯黒電話の内蔵バッテリーを充電して下さい。

まず、本製品付属の AC アダプタをコンセントに差し込み、付属充電ケーブルの Type-A コネクタ側を AC アダプタに差し込んでください。



次に、黒電話後ろにある充電用コネクタに付属充電ケーブルのマグネットコネクタ側を接続してください。黒電話側・充電ケーブル側ともに磁石が内蔵されており、近づけるだけで「カチッ」と接続されます。

マグネットコネクタに表裏はなく、180 度回転しても接続可能です。

※マグネット部分(黒電話側・ケーブル側の両方)は、下記にご注意ください。

- ・金属粉・金属片などが付着しないようにして下さい。
- ・クレジットカードなど、磁気に関係する物を近づけないで下さい。



コネクタを差し込むと、ベルが「キンコン」と 1 回鳴り、バッテリーの充電が開始されます。

(バッテリーが完全に無くなっている場合、ベルが鳴るまでに 1 分程度かかることがあります。)

充電が完了すると、「キンコン」が 2 回鳴ります。

充電完了ベルを鳴らしたくない場合や、出力電流の小さな AC アダプタ等を使用する場合には、3. 1 節に従って充電完了ベル・充電速度の設定をしてください。

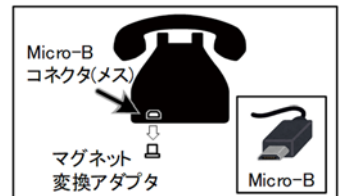
※充電器を常時接続したまま使用することもできます。(バッテリーの過充電にはなりません。)

市販の Micro-B 充電ケーブルを使用する方法：

黒電話には USB 規格の Micro-B コネクタ(メス)が装備されており、出荷時には Micro-B コネクタをマグネットコネクタに変換するアダプタが差し込まれています。

市販の USB ケーブル(Micro-B コネクタ)を使用したい場合は、黒電話に差し込んであるマグネット変換アダプタをペンチなど挟み、まっすぐに引き抜いてください。

※Micro-B コネクタを使用する際、コネクタを差し込んだ状態で、強い力や衝撃を加えないでください(特に上下方向)。抜き差しする際には、上下には揺すらないでください。Micro-B コネクタが破損する場合があります。



※制御基板キットではマグネットコネクタはオプションです。

Micro-B 充電ケーブルを使用してください。

1.2 電源のオン・オフについて

1) 電源をオンにする方法：

下記のいずれかの方法で電源をオンにできます。

- ・充電器を接続すると、電源がオンになります。
- ・受話器を上げ、何も音が聞こえないことを確認してからダイヤル（番号は何でも構いません）を回すと、電源がオンになります。電源がオンになると、スピーカーから「ツー・ツー」と音が鳴ります。
- ・受話器を置いた状態でダイヤルを回すと、電源がオンになり、回したダイヤル番号に割り当てられた機能が起動します。（19 ページ参照）。

2) 電源をオフにする方法

- ・**受話器を置いた状態で**ダイヤル「0」を右へ回した後、指止めのところで一旦止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5 秒以内に「1」をダイヤルし、指止めで止めずに離してください。

すると、「キンコン」2 回のベルが鳴って、電源がオフになります。

※充電器が接続されている時には電源をオフにすることができません。

3) 内蔵バッテリーの劣化を防ぐために、以下の使用方法をお勧めします。

- ・本製品を長期間（およそ 7 日以上）使用しない場合には、バッテリーを充電した後、充電用コネクタの接続を外し、電源をオフにして保管するようにください。
- ・バッテリーレベルが「低」（2.12 節参照）になる前に充電するようにしてください。

1.3 Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続

以下の手順に従って Bluetooth 機器（携帯電話）の登録（ペアリング）と接続を行ってください。
この際、黒電話と携帯電話との距離が 50cm 以内の状態で行ってください（通常の使用時より近づける必要があります）。

- 1) 受話器を置いたまま「8 1」をダイヤルしてください。（機器番号 1 番に登録します。最大 3 台まで登録でき、2 番、3 番に登録するにはそれぞれ「8 2」、「8 3」をダイヤルして下さい。）

ベルが『キンコン』1 回（しばらく休み）...』と鳴り続けます。



「81」をダイヤル

- 2) 以下の手順に従って携帯電話から、携帯黒電話の検索を行ってください。

・ iPhone の場合 :

「設定」／「設定」－「一般」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにして、設定画面を表示したままにしておいてください。

「その他のデバイス」のところに「kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

※携帯黒電話と再度ペアリングを行う場合、必ず一旦「登録を解除」を行ってください。（Bluetooth 設定画面の「kurodenwa」の右側の「⓪」アイコンから行えます。）



携帯電話から
検索・接続操作

・ Android スマホの場合 :

「設定」－「無線とネットワーク」などの「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにしてください。そして、「機器の検索」や検出アイコンをタップするか、メニューの「検索」を選んでください。

「使用可能な機器」のところに「kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

・ Android スマホ (Android OS 9 以上) の場合 :

「設定」－「機器接続」－「新しい機器とペア設定する」を選んで、画面を表示したままにしておいて下さい。

「使用可能な機器」のところに「kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

※携帯黒電話と再度ペアリングを行う場合、必ず一旦「以前接続されていた機器」の「kurodenwa」を削除してください（「kurodenwa」の右側の歯車アイコンから行えます。）

・ フィーチャーフォン (Android OS 搭載) の場合 :

「設定」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにしてください。そして、メニューから「更新」を選んでください。

「使用可能なデバイス」のところに「kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

・ フィーチャーフォン (3G ケータイなど、Android OS 非搭載) の場合 :

「メニュー」より、「LifeKit」－「Bluetooth」や「便利ツール」－「Bluetooth」などにある、「機器リスト」から「検索」「サーチ」などのメニューを選択して下さい。

「kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

・ WILLCOM/Y!mobile の携帯電話 (PHS) の場合 :

待ち受け画面から決定ボタン押し、「Bluetooth」メニュー画面から、「親機モードで接続」の操作を行ってください。機種によってはさらに「登録機器一覧(親機)」などを選択し、「検索」を行ってください。「kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

※検出が成功するまで数回繰り返し操作が必要な場合があります。

3) 検出された「kurodenwa」に対して以下の手順で、ペア設定・登録・接続操作をしてください。

・ iPhone の場合 :

・ Android スマホの場合 :

検索された「kurodenwa」をタップしてください。

・ フィーチャーフォン(Android OS 搭載)の場合 :

検索された「kurodenwa」を選択してください。

・ フィーチャーフォン(3G ケータイなど、Android OS 非搭載)の場合 :

・ WILLCOM/Y!mobile の携帯電話(PHS)の場合 :

検索された「kurodenwa」に対して「登録」「接続」などの操作を行って下さい。

※携帯電話にペア設定・認証・接続するかどうかのメッセージが表示された場合には許可して下さい。

(連絡先・通話履歴へのアクセスは許可する必要はありません。)

※携帯電話にパスワード・パスキー(PIN)入力画面が現れた場合には「0000」を入力して下さい。

※フィーチャーフォンの場合、端末暗証番号を入力する画面が現れた場合には、携帯電話本体の暗証番号を入力して下さい。(上記の Bluetooth パスキーとは異なります)。

4) 携帯電話の種類により、さらに接続操作をする必要があります。

- ・ フィーチャーフォン(Android OS 非搭載)の場合、「kurodenwa」に対して接続操作をしてください。
- ・ それ以外の携帯電話では、前項の機器の登録・認証をすると自動的に接続される場合もあります。

5) ベルが「キンコン」と鳴り、以後鳴り止んだらペアリングおよび接続は完了です。

ペアリング・接続作業を中止するには : 受話器を置いて下さい。

トラブルシューティング : 携帯電話が「kurodenwa」を検出できない場合 :

- ・ 携帯電話の種類によっては(登録機器リストと新規機器登録のメニューが分かれている場合などに)、既に「kurodenwa」がリストに登録されている場合は、新規機器登録メニューで検出・検索できない場合があります。一旦機器リストにて登録を削除(解除)してから、再度検出・検索を行って下さい。

(詳しくは携帯電話の取扱説明書にて「Bluetooth 機器の登録解除」などを参照してください)。

- ・ 携帯電話の Bluetooth 機能をオフ・オンしたり、再起動してみてください。

一度ペアリングを行えば、次回からは必要ありません。(通常の使用では、Bluetooth の接続・切断(2.8 節、2.9 節)を行うだけです)。

電源が切れても、ペアリング情報は保存されています。設定初期化(3.9 節)を行った場合にはペアリング登録情報が消去されます。

一旦登録したペアリングを解除するには、受話器を置いた状態でダイヤル「1」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離して下さい(機器番号 1 番の場合)。解除されたら「キンコン」が 2 回鳴ります。機器番号 2 番、3 番の場合は、それぞれダイヤル「2」、「3」です。

2 通常の使用方法

2.1 着信

最大2台までの携帯電話と Bluetooth 接続し、同時に待ち受けできます。

携帯電話に着信があると黒電話のベルが鳴ります。

（黒電話がマナーモードに設定してある場合には鳴りません。（3.5 節参照））

- ・受話器を上げると通話を開始できます。受話器を置くと通話が終了します。
- ・着信拒否をするにはフッキング（2.3 節参照）をしてください。
- ・受話器を上げているときに着信があった場合にもベルが鳴ります。フッキング（2.3 節）することにより通話を開始することができます。

携帯電話本体の着信音については、以下の通りとなります。

- 1) スマートフォンの場合：着信音量の設定により、鳴らすことも、鳴らさないこともできます。
- 2) フィーチャーフォン(Android OS 搭載)の場合：着信音量の設定により、鳴らすことも、鳴らさないこともできます。
- 3) フィーチャーフォン(上記以外)の場合：携帯電話の初期設定では鳴りません。次の設定がある機種は、鳴らすことができます。

Bluetooth メニューの中にて、まず「Bluetooth オフ」にし、次に「Bluetooth 設定」にて「着信音送出設定」がある機種は、「送らない」に設定すると、携帯電話本体から着信音が鳴るようにできます。

設定が終わったら「Bluetooth オン」にしてください。

※着信時に黒電話の受話器を上げるのではなく、携帯電話本体で着信操作をした際に、携帯電話本体から音声が出ない場合には、携帯電話を操作して、音声出力先を Bluetooth から携帯電話本体（イヤピースまたはスピーカー）に切り替えて下さい。

2.2 発信

受話器を上げて、受話器から「ツー」という連続音が出るのを確認してください。

（この際、「ツー・ツー…」という断続音が聞こえたら、携帯電話と Bluetooth での接続ができていません。ペアリング(1.3 節) および Bluetooth の接続(2.8 節)の操作が完了しているかを確認してください。

次に、黒電話のダイヤルを回して電話番号を入力します。しばらく経つと自動的に発信します。

（ダイヤル終了から発信までの待ち時間は設定できます。3.6 節を参照してください。また、ダイヤル終了後にフッキング(2.3 節)をすると、待たずにすぐに発信します)。

2 台の携帯電話が Bluetooth で接続されている場合には、機器番号の小さい方の携帯電話を使って発信します。

同じ番号に連続して発信して相手が応答しないことが何度か続いた場合、発信できない場合があります（携帯電話会社による再発信規制）。その場合は、受話器から「ツー・ツー・ツー・ツー…」という音が鳴ります。

発信規制を解除して、発信可能にする方法は以下の通りです。

- ・しばらく時間をあけてから（数分かかる場合もあります）、再度発信する
- ・携帯電話を再起動する

発信規制時、別の電話番号には発信可能な場合があります。

また、携帯電話本体の操作による発信は可能です。

※携帯電話本体の操作により発信後、黒電話で通話することもできます（携帯電話の種類により出来ない場合や、操作が必要な場合があります）。操作方法は以下の通りです。

- 1) 黒電話の受話器を上げます（受話器から「ツー」という発信音が出ることを確認してください）。
- 2) 次に、携帯電話本体で発信操作（電話番号入力や電話帳など）をします。
- 3) 受話器からの音が「ツー」から発信中の音に変わり、以後は通常の発信と同じです。

※携帯電話の種類により、黒電話の受話器を置いた状態で、携帯電話本体で発信操作をすると、黒電話のベルが「リンリン、リンリン」と鳴る場合があります。この場合、

- ・黒電話で発信・通話をする場合は、黒電話の受話器を上げて下さい。
- ・携帯電話で通話をする場合は、携帯電話を操作して、音声出力先を Bluetooth から携帯電話本体（イヤピースやスピーカーなど）に切り替えて下さい。（通常、通話画面のスピーカーや Bluetooth のアイコン（スマートフォンの場合）・メニューボタン（フィーチャーフォンの場合）などにて切り替えられます。）

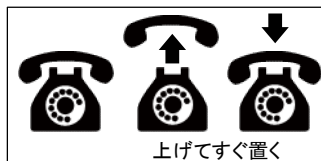
2.3 フッキング

受話器が上がった状態の時に電話がかかってきた場合に電話を取るには、受話器を置いて（または指でフックを押して）、0.5 秒以内に離してください。

その他の用途でもフッキングを使用する場合があります。（リダイヤル(2.4 節)・ダイヤル後すぐに発信(2.2 節)など）



受話器を置いた状態の時に電話がかかってきた場合に着信可否をするには、受話器を上げて、0.5 秒以内に置いてください。



2.4 リダイヤル

以下の操作により、黒電話から最後に発信した電話番号に再発信できます。

- 1) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、フッキング（フックを押して、0.5 秒以内に離す）をしてください。（フッキング前には何もダイヤルしないでください）。
- 2) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、ダイヤル「6」を回します。（その後フッキングをするとすぐにリダイヤルを開始します）。



リダイヤル機能を有効にするには、設定が必要です。（3.2 節参照）。

※出荷時には、リダイヤル機能は無効に設定されています。

使用できる電話番号は 31 桁までです。



2.5 短縮ダイヤル

以下の操作により、Bluetooth で接続した携帯電話の電話帳に登録した電話番号に発信できます。（注意：Android OS 搭載のスマートフォン、Android OS 搭載のフィーチャーフォンでは正常に動作しませんので、使用しないでください）。

受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、「0」～「9」をダイヤル開始後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」と鳴ったら離します。ダイヤルした 0～9 と、発信する電話帳との対応は以下の通りです。



- ・ iPhone の場合：電話アプリの「よく使う項目」に登録した電話番号の一番上 (0 番目) から順に 0～9 番目に対応します。
- ・ フィーチャーフォン (Android OS 非搭載) の場合：メモリ番号 0000～0009 に対応します。

2.6 受話器・送話器の音量調節

通話中に以下の操作をすると音量を調節できます。その都度受話器から「プ」と鳴ります。(調節範囲を超えている場合には鳴りません。)

以下の番号をダイヤル後、**指止めで止めます**。ベルが「キンコン」と鳴ったら離します。

「3」(指止めで止める) : 受信 音量アップ ↑

「4」(指止めで止める) : 受信 音量ダウン ↓

「5」(指止めで止める) : 送信 音量アップ ↑

「6」(指止めで止める) : 送信 音量ダウン ↓



設定した音量は記憶され、次回以降の通話にも有効です。

電池切れになっても記憶されています。設定初期化(3.9 節)をすると出荷時の設定に戻ります。

2.7 トーン信号の送出

通話中に以下の操作をすると、トーン信号(ピポパ音)を通話先に送出することができます。

送出した際には受話器から「プ」と鳴ります(こちら側には番号毎に異なるピポパ音は鳴りません)。

通話中に「0」～「9」をダイヤル : トーン信号 0～9 を送出

通話中に「1」をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」鳴ったら離す : 「*」を送出

通話中に「2」をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」鳴ったら離す : 「#」を送出

※通話先が自分の携帯電話と同じキャリアの場合(例 : 自分の携帯電話も、通話先の携帯電話もドコモの場合など)、トーン信号は送出されない場合があります。通話先が各種サービス会社の自動応答システムの場合には、問題ありません。

2.8 Bluetooth の接続

携帯電話と Bluetooth の接続するには、以下の通り 4 つの方法があります。

※下記の手順で接続をするには、まずペアリング（1.3 節）を行っておく必要があります。

※既に別の携帯電話と Bluetooth の接続をしている場合は、まずその携帯電話と切断（2.9 節）を行ってから新たな携帯電話と接続を行ってください。

最大 2 台の携帯電話と接続し、同時待ち受けできます。

① 黒電話の操作により接続する方法（その 1）←通常はこの方法が便利

受話器を上げると最後にペアリング操作または接続操作をした「1」「2」「3」のいずれかの携帯電話に接続します。

受話器を上げると「ツ・ツー…… ツ・ツー……」の繰り返し音が鳴ります。携帯電話との接続が完了するとベルが「キンコン」と鳴り、受話器の音が「ツー」に変わります。

※この操作による接続を行うには、「オフフック時自動接続」機能がオンになっている必要があります。本機能は出荷時にはオンになっています。設定を変更するには 3.4 節を参照して下さい



受話器を上げる
だけ

「ツ・ツー」音の後
「キンコン」

② 黒電話の操作により接続する方法（その 2）←接続する携帯電話を指定したい場合

受話器を置いたまま、接続したい機器番号「1」「2」「3」のいずれかを回して下さい。

「キンコン… キンコン…」とベルが繰り返し鳴り続けます。

接続が完了すると「キンコン」と一度鳴り、ベルが鳴り止みます。

ベルが鳴っている途中で受話器を上げると、接続作業が中止され、ベルが鳴り止みます。



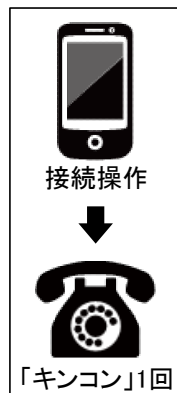
ダイヤルを回すと
ベルが鳴り続ける
→接続すると「キ
ンコン」

ペアリングしていない機器番号をダイヤルすると、「キンコン」が 3 回鳴り、エラーとなります。まずペアリング（1.3 節）を行って下さい。

既に携帯電話と接続している状態で別の機器番号をダイヤルすると「キンコン」が 3 回鳴り、エラーとなります。別の携帯電話に接続したい場合には、一旦切断してから（2.9 節）、本節の接続操作を行って下さい。

③ 携帯電話の操作により接続する方法 ←**接続する携帯電話を指定したい場合**

携帯電話から携帯黒電話（名称は「kurodenwa」）を選び、「接続」の操作を行って下さい。（操作方法は携帯電話によって異なります）。
接続が完了すると、黒電話のベルが「キンコン」と鳴ります。



④ 常時自動接続の設定をする方法 ←**可能な限り常時接続しておきたい場合**

Bluetooth の接続が切れている間、携帯黒電話から常時接続を試みます。ペアリングが完了している携帯電話に対し、順に接続を試みます。

そのため、何らかの理由により Bluetooth の接続が切れても、再度接続可能な状態・電波到達範囲に入ると、自動的に接続されます。

接続が完了していると、受話器を上げた時に「ツー」音が鳴ります。

接続が完了していない場合には受話器を上げた時に「ツー・ツー」音が鳴ります。

この方法で接続するには「常時自動接続（3.3 節）」が有効になっている必要があります。出荷時にはオフになっています。

※この機能を使用すると携帯黒電話の消費電流が数倍に増え、バッテリーの持続時間が短くなりますので、充電器を接続している時に使用することをお勧めします。

2.9 Bluetooth の切断

黒電話での通話を使用しない場合には、以下の手順で Bluetooth の接続を切断して下さい。

以下の方法があります。

また、既に接続している携帯電話とは別の携帯電話に接続したい場合も、以下の方法で接続を一旦切断してから、接続操作(2.8 節)を行って下さい。

① 黒電話の操作により切断する方法

- ・全ての接続を切断する場合：
受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4」または「4 4」を回して下さい。
- ・機器番号を指定して切断する場合：
受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4 1」を回して下さい(機器番号 1 番の場合)。機器番号 2 番、3 番の場合は、それぞれ「4 2」「4 3」です。
切断が完了すると、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴ります。



「4」をダイヤル

② 携帯電話の操作により切断する方法

携帯電話から携帯黒電話の名称「kurodenwa」を選び、「切断」の操作を行って下さい。(操作方法は携帯電話によって異なります。この操作ができない携帯電話もあります)。
切断が完了すると、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴ります。



切断操作

③ Bluetooth の電波が届かなくなった場合には、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴り、切断されたことを示します。

2.10 iPhone の Siri など使用時の注意事項

iPhone で Siri を起動すると、黒電話のベルが「リンリン...、リンリン...」と鳴り始める場合があります。これは、iPhone が Siri の音声を Bluetooth ハンズフリーから出力・入力しようとしていることを示すベルです(詳細は 2.14 節を参照して下さい)。

これを回避するためには、以下の操作を行って下さい。

- 1) Siri を起動したら、画面下部をタップし、音声入力をキャンセルします。
- 2) 「たとえばこのように尋ねてください」の画面が表示されたら、画面右下の Bluetooth アイコンをタップし、接続先を「kurodenwa」から「iPhone」に切り替えます。

2.11 タイマー機能

携帯黒電話をタイマーとして使用できます。

設定できる時間は1分～99分（1分刻み）です。

タイマーの時間精度はあまり良くありませんので、あくまでも目安として使用してください。

操作方法は以下の通りです。

1) タイマーの設定

受話器を置いたまま、「0」に続けて、2桁の時間（分）をダイヤルしてください。各桁の間は5秒以上空けないでください。5秒以上空けると「キンコン」2回のベルが鳴り、設定が中断されます。

3桁の番号をダイヤルし、タイマーがセットされると「キンコン」とベルが鳴ります。

例：3分を設定する場合、「003」をダイヤルしてください。

設定可能な最大時間は99分（「099」をダイヤル）です。

2) タイマー通知ベル

設定した時間に到達すると、「リン... リン...」とベルが鳴り続け、約30秒後に停止します。

受話器を上げるとベルが止まります。

通話中にタイマー設定時間に到達した場合には、通話が終了し、受話器を置いた後にタイマー通知ベルが鳴ります。

3) キャンセル

一旦セットしたタイマーをキャンセルするには、受話器を置いたまま「000」をダイヤルしてください。キャンセルされると、「キンコン」が2回鳴ります。

2.12 バッテリー残量の確認

受話器を置いたまま「5」をダイヤルするとベルが「キンコン」と1回から3回鳴り、バッテリー残量を確認できます。

「キンコン」3回：バッテリーレベル：高

「キンコン」2回：バッテリーレベル：中

「キンコン」1回：バッテリーレベル：低

2.13 ベルテスト

受話器を置いたまま「9」をダイヤルすると、ベルが鳴ります。「9」をダイヤルするたびに鳴り方が変わります。

ダイヤル「9」1回目：電話の着信ベル「ジリリリリーン、ジリリリリーン」

ダイヤル「9」2回目：確認のベル「キンコン」

ダイヤル「9」3回目：タイマーのベル「リン... リン...」

ダイヤル「9」4回目：通話アプリの着信ベル「リンリン...、リンリン...」

受話器を上げると止まります。

2.14 スマートフォンの通話アプリ（IP 電話）での通話

携帯黒電話での通常の通話（070/080/090 電話番号）は Bluetooth の HFP（ハンズフリープロファイル）の通信を使用します。

しかし、スマートフォンの通話アプリ（Apple Facetime, Google Duo, Skype, LINE 等）や IP 電話（SMARTalk, Viber 等）は完全には HFP に対応していません。通話アプリの着信・発信時の動作は以下の表の通りです。

※以下の説明は全てのスマートフォン・OS・アプリでの動作を保証するものではありません。

- ・通話アプリの着信時にスマートフォンからも黒電話からも着信音が鳴らない
- ・通話デバイスの切り替え（スマートフォン本体または黒電話の受話器）がうまくいかないなどの不具合が発生する場合があります。

また、今後のアプリ・OS アップデートに伴い、動作が変わる可能性があります。

※本機能により、通話アプリだけでなく、通常の電話の通話に不具合が発生する可能性があります。その場合には 3.8 節に従って「通話アプリ機能を使用しない」に設定を変更してください。

通話アプリ機能（3.8 節）を有効にした場合の動作

iPhone (iOS11 以上) の場合	
着信時	スマートフォン本体から着信音が鳴る。黒電話で通話開始・通話が可能(※1 動作)。(※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。
発信時	スマートフォン本体で発信操作が必要。 1) スマートフォン本体から発信音は鳴らない。黒電話は(※3 動作)。 2) (※7 操作) にて発信することも可能。 (※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。
Siri 起動時	最初、スマートフォン本体から Siri 音声の入出力ができない。黒電話は(※3 動作)。 黒電話の受話器は取らず 、2.10 節に従って音声入出力デバイス を iPhone 本体に切り替えて下さい。スマートフォン本体から Siri 音声の入出力が可能になります。

Android (AndroidOS 5 以上) の場合	
着信時	スマートフォン本体から着信音が鳴る。黒電話で通話するにはスマートフォン本体で着信操作が必要(※2 動作)。アプリによっては、着信操作後に黒電話が(※3 動作)。(※4 注意)、(※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。
発信時	スマートフォン本体で発信操作が必要。 1) スマートフォン本体から発信音は鳴らない。黒電話は (※3 動作)。 2) (※7 操作) にて発信することも可能。 (※4 注意)、(※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。

Android (AndroidOS 4 以下) の場合	
着信時	スマートフォン本体から着信音は鳴らない。スマートフォン本体で着信操作後、黒電話は(※3 動作)。(※4 注意)、(※5 操作)、(※6 操作)を確認のこと。
発信時	上記の「Android (AndroidOS 5 以上) の場合」の発信時と同じ。

スマートフォン・通話アプリによっては、上記の表とは動作が異なる場合があります。黒電話への着信は無く、そのままスマートフォン本体で発信・着信・通話ができる場合があります。また、黒電話での通話が全くできない場合があります。

(※1 動作) :

黒電話に着信がある。(通常のベルの鳴り方)。

- a) 黒電話の受話器を上げると、黒電話で通話できます。受話器を置くと、通話が終了します。
- b) スマートフォンで通話をしたい場合、スマートフォンで着信操作を行った後、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

(※2 動作) :

黒電話に着信がある。(ベルは「リンリン...、リンリン...」と鳴ります)。

- a) 黒電話の受話器を上げ、さらにスマートフォンで着信操作をすると、黒電話で通話ができます。受話器を置いても、通話は終了しません。(※4 注意)参照。
- b) スマートフォンで通話をしたい場合、スマートフォンで着信操作を行った後、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

(※3 動作) :

黒電話に着信がある。(ベルは「リンリン...、リンリン...」と鳴ります)。

- a) 黒電話の受話器を上げると、黒電話で通話ができます。受話器を置いても、通話は終了しない場合があります(特に Android スマートフォンの場合)。(※4 注意)参照。
- b) スマートフォンで通話をしたい場合、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

(※4 注意) :

通話アプリ・スマートフォンの種類によっては、黒電話の受話器にて通話中、受話器を置いても通話が終了しない場合があります。この場合、スマートフォン本体での通話に切り替わり、通話は続いていますので注意してください。通話を終了するにはスマートフォンで通話終了の操作が必要です。

(※5 操作) :

通話アプリによっては使用するデバイスを切り替えることができます。通話中の画面で、スピーカーや Bluetooth のアイコンをタップしてください。

「スピーカー」／「イヤークピース」／「iPhone」などはスマートフォン本体での通話になります。

「Bluetooth」や「TTR-ADPT1」などは黒電話での通話になります。

スマートフォン本体から Bluetooth に切り替えた場合、黒電話に着信があり、受話器を上げると黒電話で通話ができます。上記(※3 動作)参照。

また、先に受話器を上げてから Bluetooth に切り替えると、黒電話への着信を省くことができます。

(※6 操作) :

スマートフォン本体にて通話中、黒電話の受話器を上げて機器番号(「1」～「5」)をダイヤルすると、黒電話で通話できます。(通話アプリ・スマートフォンによっては、できない場合もあります)。

(※7 操作) :

以下の方法で、黒電話への着信を省き、素早く黒電話で通話が開始できます。

黒電話の受話器を上げた後、通話アプリで発信・着信操作をしてください。

受話器からは、最初は「ツー」という発信音がしますが、スマートフォンと接続されると発信音または通話に切り替わります。

3 各種設定

本製品には各種設定があり、以下の方法で設定ができます。

受話器を置いたまま、各設定項目ごとの番号をダイヤル(右へ回す)した後、指止めのところで3秒ほど一旦止めます。「キンコン」と鳴ったら指を離します。

設定項目によっては、さらにダイヤルを回します。

その後、ベルが「キンコン」と鳴る回数で設定結果を知らせます。

設定内容は、バッテリー切れや電源オフをしても保存されます。



ダイヤルし、指止
めで止めて「キン
コン」と鳴ってから
指を離す

3.1 充電速度・充電完了ベルの設定 (5 止め+1 桁)

内蔵バッテリーの充電速度・充電完了ベルの設定をします。

通常は、Micro-USB コネクタに接続された先が PC が AC アダプタかを自動判別し、標準充電(PC の場合)／急速充電(AC アダプタの場合)を切り替えます。

しかし、自動判別できない場合や、USB ハブから充電する場合等、充電電流をさらに小さくしたい場合にこの設定を行ってください。

「5」のダイヤルを回し、指止めで止めます。「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5 秒以内に以下の数字を回してください。充電電流値を設定できます。

「5」に続き「1」を回す：強制的に低速充電（最大 100mA）に設定

「5」に続き「2」を回す：強制的に標準充電（最大 500mA）に設定

「5」に続き「3」を回す：強制的に急速充電（最大 1000mA）に設定

「5」に続き「4」を回す：標準／急速充電を自動判別

それぞれの設定を受け付けると、対応した番号の回数(1／2／3／4 回)ベルが「キンコン」と鳴ります。

※出荷時・設定初期化後は充電速度は「自動判別」になります。

「5」に続き「5」を回すと、充電完了ベルが鳴る・鳴らないが切り替わります。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1 回で充電完了ベルが「鳴る」、2 回で「鳴らない」です。

※出荷時・設定初期化後は充電完了ベルは「鳴る」になります。

3.2 リダイヤル機能の設定 (6 止め)

以下の方法で、リダイヤル機能を実行する方法を設定します。

「6」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数と、現在の設定との関係は以下の通りです。

1 回：リダイヤル機能無効

2 回：フッキング(かばんの中に携帯黒電話を入れて運んだりする際、荷物が当たってフッキングされてしまい、勝手にリダイヤル機能が作動する可能性がありますので注意してください。)

3 回：受話器を上げて「6」をダイヤル

4 回：フッキングと「6」をダイヤルの両方

※出荷時・設定初期化後は「リダイヤル機能無効」に設定されます。

3.3 常時自動接続の設定 (7 止め)

ペアリングが完了している携帯電話に自動的に常時接続を試みるかどうかを設定します。

(2.8 節④)

「7」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で常時自動接続「オン」、2回で「オフ」です。

※出荷時・設定初期化後は「オフ」に設定されます。

3.4 オフフック時自動接続の設定 (8 止め)

受話器を上げた際に、自動的に Bluetooth 接続を開始するかどうかを設定します。(2.8 節①)

「8」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で自動接続「オン」、2回で「オフ」です。

携帯黒電話をカバン等で持ち運ぶ際など、フックが外れて困る場合には「オフ」に設定してください。

※出荷時・設定初期化後は「オン」に設定されます。

3.5 マナーモードの設定 (9 止め)

着信ベルを鳴らなくするための設定です。

「9」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で着信ベルが「有効(鳴る)」、2回で「無効(鳴らない)」です。

※出荷時・設定初期化後は着信ベルは「有効」になります。

3.6 ダイヤル桁間タイマの設定 (5 止め 7)

ダイヤル速度が遅い電話機や、ダイヤルに時間がかかりダイヤル途中で発信してしまう場合には、以下の設定でダイヤル終了から発信までの待ち時間を長くすることができます。

「5」のダイヤルを回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5秒以内に「7」を回します。

その後ベルの鳴る回数が「キンコン」1回で待ち時間「延長」、2回で「標準」です。

※出荷時・設定初期化後は「標準」に設定されます。

3.7 Bluetooth デバイス名の変更 (5 止め 6+1 桁)

Bluetooth のデバイス名 (ペアリングや接続の操作時に携帯電話に表示される本製品の名称) は、初期設定では「kurodenwa」ですが、以下の方法で変更することができます。

本製品を複数台使用する際など、個体を識別したい場合に使用してください。

この設定は、ペアリング・接続操作をする前に行ってください。

受話器を置いた状態でダイヤル「5」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

次に、5秒以内に「6」をダイヤル(指止めで止めない)します。

最後に、5秒以内に「0」～「9」のいずれかをダイヤル(指止めで止めない)します。

すると、「キンコン」と鳴り、設定が完了します。

最後に回す番号が「0」の時、デバイス名は「kurodenwa」に設定され、「1」～「9」の時、デバイス名はそれぞれ「kurodenwa(1)」～「kurodenwa(9)」に設定されます。

※出荷時・設定初期化後は「kurodenwa」に設定されます。

3.8 通話アプリ機能の設定 (4 止め 8+1 桁)

受話器を置いた状態でダイヤル「4」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

次に、5 秒以内に「8」をダイヤル（指止めで止めない）します。

最後に、「0」～「4」のいずれかをダイヤル（指止めで止めない）します。

すると、「キンコン」が 1 回鳴って、設定が完了します。

最後に回す番号と設定の関係は以下の通りです。

0:通話アプリ機能を使用しない

1:通話アプリを使う (iPhone/Android スマートフォンの両方に対応) (初期設定)

2:iPhone で通話アプリを使う

3:Android スマートフォンで通話アプリを使う

4:Android スマートフォンで Skype を使う

3.9 電源オフ (0 止め 1)

受話器を置いた状態でダイヤル「0」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5 秒以内に再度「1」をダイヤル（指止めで止めない）します。

すると、「キンコン」が 2 回鳴って、電源がオフになります。

3.10 再起動・設定初期化 (0 止め 0、0 止め 99)

携帯黒電話に何らかの異常が発生した場合、以下の手順にてまず再起動を試みてください。

それでも改善しない場合は設定初期化を試みてください。

1) 再起動：(0 止め 0)

受話器を置いた状態でダイヤル「0」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、5 秒以内に再度「0」をダイヤル（指止めで止めない）します。

すると、「キンコン」が 4 回鳴って、携帯黒電話の内部回路が再起動します。

再起動後、操作可能になるまでに 5 秒程度かかります。

2) 設定初期化：(0 止め 99)

受話器を置いた状態でダイヤル「0」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

次に、5 秒以内に「9」をダイヤル（指止めで止めない）します。

最後に、5 秒以内に「9」をダイヤル（指止めで止めない）します。

すると、「キンコン」が 5 回鳴って、携帯黒電話の設定が初期化され、内部回路が再起動します。

初期化・再起動後、操作可能になるまでに 5 秒程度かかります。

初期化後は、各種設定・受話器および送話器の音量が出荷時の状態に戻ります。

Bluetooth のペアリング登録情報も消去されます。

4 付録

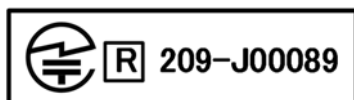
4.1 電波法の認証について

本製品は日本の総務省の工事設計認証を受けた Bluetooth モジュールを内蔵しています。モジュールの情報は以下の通りです。

認証製品名	WT32i/ Bluetooth 3.0 Module
認証申請者名:	Blue Giga Technologies Oy
認証番号	ACB-MIC000029

認証マークはモジュール刻印と同じものを機器外部や取扱説明書に記載できることが法律で認められています。

必要な場合は以下のラベルをコピーして電話機の底面等に貼り付けてください。



4.2 仕様

Bluetooth 仕様	Ver2.1+EDR Class2 (通信距離最大 10m、実用 3m 程度)
Bluetooth 対応プロファイル	HFP 1.6 (ハンズフリープロファイル 1.6)
Bluetooth 機器ペアリング台数	最大 3 台
Bluetooth 同時待ち受け台数	最大 2 台 (同時通話は 1 台のみ)
電波法関連	総務省の工事設計認証取得済みモジュールを内蔵
電源	リチウムイオン充電電池 3.7V 1900mAh
待ち受け時間 (Bluetooth 接続時)	最大約 8 日間 (電波環境や携帯電話との距離により変わります)
内蔵バッテリー充電時間	標準充電: 4 時間程度 急速充電: 3 時間程度 常時 AC アダプタ接続での使用も可能 (電池の過充電にはなりません)。
充電用電源入力	Micro-USB Micro-B レセプタクル (メス) コネクタ (Micro-USB からマグネットコネクタへの変換アダプタ装着 ※制御基板キットではオプション) ・標準充電: 5V 最大 500mA ・急速充電: 5V 最大 1.0A 充電速度は自動切り替え。手動設定も可能。
付属品	取扱説明書(本書) USB 充電ケーブル USB 充電器 (AC100V 用)

4.3 特殊ダイヤル操作一覧表

受話器を置いた状態		
番号	普通にダイヤル	指止めで止める※
1	Bluetooth 接続 機器番号 1	ペアリング解除 機器番号 1
2	Bluetooth 接続 機器番号 2	ペアリング解除 機器番号 2
3	Bluetooth 接続 機器番号 3	ペアリング解除 機器番号 3
4	Bluetooth 切断 (1 桁, 2 桁)	
5	バッテリー残量確認	充電速度・充電完了ベル設定 (2 桁)
6		リダイヤル許可モード設定
7		常時自動接続設定
8	ペアリング・接続 (2 桁)	オフフック時自動接続の設定
9	ベルテスト	マナーモード設定
0	タイマー機能 (3 桁)	電源オフ・再起動・設定初期化 (2 桁, 3 桁)

受話器を上げた状態				
番号	発信前に		発信後、通話中に	
	普通にダイヤル	指止めで止める※	普通にダイヤル	指止めで止める※
1	通話アプリ接続	短縮：0001 番	トーン信号送出：1	トーン信号送出：*
2		短縮：0002 番	トーン信号送出：2	トーン信号送出：#
3		短縮：0003 番	トーン信号送出：3	受信音量アップ
4		短縮：0004 番	トーン信号送出：4	受信音量ダウン
5		短縮：0005 番	トーン信号送出：5	送信音量アップ
6	リダイヤル	短縮：0006 番	トーン信号送出：6	送信音量ダウン
7		短縮：0007 番	トーン信号送出：7	
8		短縮：0008 番	トーン信号送出：8	
9		短縮：0009 番	トーン信号送出：9	
0		短縮：0000 番	トーン信号送出：0	

※「指止めで止める」とは、次の操作です。各番号のダイヤルを右へ回した後、指止めのところで3秒ほど一旦止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。